

クリスマス会



平成元年、重度棟を増築し30人増員し、80名の入所施設となる。この年のクリスマス会では、第2代目の理事長檀上勉（故人）がサンタクロース役になった。

水泳訓練



夏は木脇中学校のプールを借りて泳いだ。初代園長宮本美雄はスポーツ万能で、水泳や柔道を熱心に指導した。平成5年、現職のまま召天。

イースター礼拝



平成6年ごろからイースター礼拝と召天者記念会を同日に行うようになった。墓地の広場で礼拝を行い、その後記念塔に全員が順番で花をささげた。

仲良し4人組



畑作業や家事の経験が豊富な利用者がいた。農作業で汗を流し、花を育てながら若い利用者の模範となった。

収穫



年配のグループは作業とは別に余暇活動で家庭菜園を作っていた。この日はジャガイモを収穫し、厨房に収めた。

職場実習



開園以来クリーニング店、縫製工場、スーパーマーケット等で実習した。「パンの店きゅーと」は長期にわたって利用者を受けてくださった。

音楽バンド・グレープフルーツ



平成7年神奈川県内でコンサートを行う。三笠宮殿下（故人）も聴かれた。県内外で年間10回ほどのコンサートを行った。左端は2代目園長池田武義氏。

耐寒訓練



冬はいつもより長めに走り、最終日には駅伝大会を行った。最後にぜんざいを食べて体を温めるのが恒例だった。

20周年記念式典



オリーブ班を中心に劇「桃太郎」を好演した。満員の会場からは割れるような拍手がわいた。

●1989(平成元)年～1998(平成10)年のできごと

- 1989年(H 1) ○ 日本小型自動車振興会補助事業により、重度棟の増築工事が整備され入所定員が50名から80名となる。
- 1991年(H 3) ○ 三代目理事長に吉間光子が就任する。
- 知的障害者短期入所（ショートステイ）事業を開始する。
- 1992年(H 4) ○ 初代園長宮本美雄現職で逝去する（74歳）
- 1993年(H 5) ○ 二代目園長に池田武義が就任する。
- 盲重複利用者の音楽バンド「グレープフルーツ」を中心に利用者全員でCD「言葉にならないけれど」を製作する。
- 1994年(H 6) ○ 第15回全国盲重複障害者福祉施設研究大会（宮崎大会）を主管する。
- 1996年(H 8) ○ 宮崎県重複障害者と共に生きる会、エデンの園家族会の協力を得て、自活訓練棟「ホームひかり」が竣工する。
- 1997年(H 9) ○ 三代目園長に宮本トキが就任する。
- 利用者自治会「バラの会」が設置される（初代会長田辺今朝治さん）
- 1998年(H10) ○ 創立20周年記念式典と関連行事を国富町内で行い、「東京ディズニーランド」（2泊3日）旅行を行う。また「記念碑」を建立する。

グループホーム



平成11年グループホーム「みらい」が開設した。現在「いこい」「のぞみ」、「青い鳥」計4ホーム23人が地域で生活している。

大規模な改築



平成15・16年家族の支援と国県の補助を受け、西館を建設。起工式では3代目理事長の吉間光子が鉄入れを行った。

食事風景



広々とした新しい食堂も整備される。レストランのような雰囲気でおいしくいただく。

フォーユーコンサート



共に生きる会主催で年に3～4回コンサートを開いた。この日は有田橋教会(現柳丸キリスト教会)の「ボイス」を招き、全員参加型のコンサートを楽しんだ。

ディズニーランド



平成18年ミッキーマウスとミニーマウスが来園。ディズニーランド旅行以来8年ぶりに旧交を温めた。

陶芸教室



昭和56年頃から行われている。現在も行われており当時の陶芸教室の参加者が親になり、子供を連れて参加することもある。

集いの部屋アガパンサス



お菓子作りや音楽を楽しむ施設外の活動。入所している利用者が施設外で日中活動するさきがけとなった。

ふれあい分場



町役場の古い建物を借用し日中活動の場を無認可で開いた。その後分場として認められ、現在は移転し通所の生活介護施設となっている。

30周年記念式典



30周年の記念式典には来日していたアンデス音楽のバンド「ウェイノ」がゲストで出演し花を添えた。

●1999(平成11)年～2008(平成20)年のできごと

- 1999年(H11) ○ 四代目施設長に川越瑞枝が就任する。
- 重複障害者と共に生きる会の支援により、無認可のグループホーム「ホームみらい」(4名)を本庄に開設する。
- 2000年(H12) ○ 「ホームみらい」が宮崎県単独事業・地域生活支援ホームとして認可を受ける。(13年度から国事業に転換)
- 2001年(H13) ○ グループホーム「いこいの家」(4名)を開設する。
- 2002年(H14) ○ 重複障害者と共に生きる会の支援を受け、無認可の施設外作業所「ふれあい」を国富町役場内に開設する。
- 2003年(H15) ○ 施設外作業所「ふれあい」が「エデンの園ふれあい分場」として認可を受け、国富町本庄の住宅地に移転、開設する。(定員16名)
- 2004年(H16) ○ 国及び宮崎県の助成を受けた2年間にわたる改築工事が終了する。改築部分の居室は1人部屋または2人部屋となる。また地域交流スペースとショートステイ用居室2部屋を設ける。同時に既存部分の改修工事を行う。
- 施設改築に伴い、自活訓練棟「ホームひかり」移設及び改修を行う。
- 作業棟「ジョイハウス」を建設する。
- 2006年(H18) ○ 障害者自立支援法施行に伴い、グループホームは「エデンの園ケアホーム」として事業所認可を受ける。短期入所事業については「エデンの園ショートステイ」として認可を受ける。
- 2007年(H19) ○ 地域移行型ケアホームを自活訓練棟で開始し、「のぞみの家」とする。
- 共に生きる会結成35周年記念行事(コンサート、作品展)を行う。
- 2008年(H20) ○ エデンの園創立30周年記念式典、並びに記念コンサートを国富町農村環境改善センターにて開催する。南米から日本公演中の音楽バンド「ウェイノ」がゲスト出演する。

理事長バトンタッチ



平成21年3月吉間理事長及び施設建設に尽力した宮本トキ第3代施設長が退任。4月川越瑞枝施設長が4代目の理事長として就任した。

4月 記念撮影



新年度には多目的ホールに全員が集合して全体会を行う。新たな利用者や新任職員の紹介、1年間の目標などについて確認する。

韓国の教会と交流



平成26年から毎年、韓国の教会から青年や大学生が訪問、土曜学校の後清掃等のボランティアを行い、文化交流を行う。

家族・職員合同研修



平成24年度より毎年9月に家族と職員の合同研修会を行っている。平成26年は「歯の健康は体の健康・心の健康」と題して生嶋暁美氏が講演する。

じょいほっぷ



法人の地域貢献事業「じょいほっぷ」、児童の居場所づくりを開始する。町内の小学校児童10名が利用している。

グループホーム青い鳥



「安心・安全・自由でいつでも利用できる」をコンセプトに重度高齢の利用者のために青い鳥を開設する。

麦わらぼうしの探検隊



森永バス停前に「地域交流センター」を開設。相談支援事業、麦わらぼうし（放課後等デイサービス事業）が入る。子供たちの声ははじける。

S K B



平成29年全国盲重複施設職員研修会を当法人が主管、アトラクションではふれあいのS K B（サンライズ国富バンド）が楽しく、迫力ある演奏を行う。

働くつむぎ



綾町につむぎ（就労継続B型事業）を開設する。ホテルなどの清掃、車用品の組み立て、農協の野菜の選果等を行う。

●2009(平成21)年～現在までのできごと

- 2009年(H21)
 - 4代目理事長に川越瑞枝、5代目施設長に廣瀬 恵が就任する。
 - 国、宮崎県の助成を受けケアホーム「ホームみらい」を建設・移転し、定員増（8名）を行う。
- 2010年(H22)
 - 家族会の協力を受け三名区有地にエデンの園ワークセンターを建設し、日中活動の場及び、ケアホームの事務所とする
- 2011年(H23)
 - 障害者自立支援法に基づく事業体系に移行し、施設等の名称が変わる「障害者支援施設エデンの園」及び「エデンの園ふれあい」
 - 「重複障害者とともに生きる会」が解散する（1971から40年間活動）
 - 家族との連携委員会を設置する（年間3回程度意見交換会を行う）
 - 障がい者自立支援基盤整備事業により多目的ホールを整備する。
 - 障がい者自立支援基盤整備事業によりエデンの園ふれあいに車両整備を行う。
- 2013年(H25)
 - 利用者の高齢化に伴いトイレの改修工事を行い、特殊浴槽、リフト浴槽を設置する
- 2014年(H26)
 - エデンの園相談支援事業をワークセンターシャロームにて開始する。
 - ケアホームとグループホームが一元化され、「エデンの園グループホーム」に名称を変更する
 - 地域貢献事業児童の放課後の居場所づくり「じょいほっぷ」（定員10名）を開始する
 - ホームみらいに県の補助事業によりスプリンクラー設置する
 - エデンの園ふれあいをワークセンターシャローム内に移設する。
- 2016年(H28)
 - エデンの園相談支援事業所を国富町竹田の地域福祉支援センターに事務所移転する。
 - グループホーム青い鳥をを国富町竹田に開設する（定員7名）
 - 麦わらぼうし（放課後等デイサービス定員10名）を地域福祉支援センターに開設する。
 - 東館を一部改築して高齢者棟とし、特殊浴槽等を設置、支援員室、トイレ、作業室を増設する。
 - みやざき安心セーフティネット（県社協）に参加する。
- 2017年(H29)
 - 社会福祉法人制度改革に基づき役員等を再編する。
 - 第38回全国盲重複障害者研究大会（宮崎大会）を主管する
- 2018年(H30)
 - つむぎ（就労継続支援B型事業所 定員20名）を綾町に開設する（定員20名）
 - エデンの園創立40周年記念式典、並びに記念コンサートを国富町農村環境改善センターにて開催する。